

平成 2 4 年度 第 3 回 県政世論調査

【抜粋】

目 次

調査のあらまし

1 調査の概要	1
2 調査対象者の属性	2
3 サンプルデザイン	3
4 この報告書のみかた	8

調査結果の分析

1 県民の生活意識及び広報広聴活動	
(1) 現在の生活に対する満足度	9
(2) 現在の生活の領域別満足度	12
(3) 今後の生活の力点	19
(4) 県の情報の入手方法	23
(5) 広報活動に対する評価	26
(6) 県の広報を充実させる方法	28
(7) 県の広聴活動の認知状況	31
(8) 広聴活動に対する評価	34
2 防犯カメラに関する意識	
(1) 防犯カメラに対する意識	36
(2) 防犯カメラの撮影に不安を感じる理由	38
(3) 防犯カメラの効果	40
(4) 防犯カメラの設置	42
(5) 防犯カメラを設置すべき場所	44
3 暴力団対策について	
(1) 暴力団排除条例について	46
(2) 暴力団排除条例の効果的な内容	48
(3) 暴力団に対する意識	50
(4) 暴力団がなくなる原因	52
(5) 暴力団に関する不安について	54

(6) 暴力団に対し不安を感じること	56
(7) 暴力団犯罪をなくす手段	58

4 家庭・地域における教育の推進

(1) 子どもたちの道徳性・社会性を育むため気をつけていること	60
(2) 社会全体の道徳性・社会性を向上していくための効果的な取組	62
(3) 子どもたちを育むため家庭などで気をつけていること	64
(4) 公共の場で周りの人のために気をつけていること	66
(5) 自転車運転時に周りの人のために気をつけていること	68

5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

(1) ワーク・ライフ・バランスの認知度	70
(2) ワーク・ライフ・バランスの重要性	72
(3) 仕事と生活の調和について	74
(4) ワーク・ライフ・バランスで現在重視しているもの	76
(5) ワーク・ライフ・バランスで重視していきたいもの	78
(6) 愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度の認知度	80
(7) ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた県の取組	82

6 県から市町村への権限移譲について

(1) 市町村への権限移譲に対する実感	84
(2) 市町村への権限移譲に対する意向	86
(3) 市町村への権限移譲で期待すること	88

調査票	90
-----	----

集計表	107
-----	-----

1 調査の概要

(1) 調査の目的

県民の生活に深い関わりを持つ県政の各分野について、県民の関心や意向、要望等を調査し、今後の県政施策推進の基礎資料とする。

(2) 調査の項目

- ① 県民の生活意識及び広報広聴活動
- ② 防犯カメラに関する意識
- ③ 暴力団対策について
- ④ 家庭・地域における教育の推進
- ⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について
- ⑥ 県から市町村への権限移譲について

(3) 調査の設計

- ① 調査地域 愛知県
- ② 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- ③ 標本数 3,000人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 平成24年11月11日～11月30日

(4) 調査委託先

株式会社 イープラネット

(5) 回収結果

- ① 標本数 3,000人
- ② 回収数 1,624人 (54.1%)

2 調査対象者の属性

【性別】

総数	男性	女性	無回答
1,624人	713人	898人	13人
100.0%	43.9%	55.3%	0.8%

【年齢】

20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
161人	274人	342人	339人	211人	280人	17人
9.9%	16.9%	21.1%	20.9%	13.0%	17.2%	1.0%

【居住地域】

名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域	無回答
451人	708人	299人	150人	16人
27.8%	43.6%	18.4%	9.2%	1.0%

【職業】

自営業 165人 10.1%	農林業	9人	0.6%
	商工サービス業	85人	5.2%
	自由業	71人	4.4%
勤め人 886人 54.5%	管理職	122人	7.5%
	専門技術職	264人	16.3%
	事務職	218人	13.4%
	労務職	282人	17.4%
無職 541人 33.3%	家事専業	302人	18.6%
	学生	32人	2.0%
	その他	207人	12.7%
無回答		32人	1.9%

3 サンプルデザイン

- (1) 母集団 愛知県内に居住する 20 歳以上の男女
- (2) 標本数 3, 000
- (3) 地点数 150
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

ア 層化

愛知県内の市町村を、市（名古屋市は区）及び郡を単位として、16 の調査地区にグループ化した（調査地区区分図のとおり）。さらに、各調査地区を名古屋市、その他の市と郡部（町村）の 3 つに分類し、それぞれを層とした。

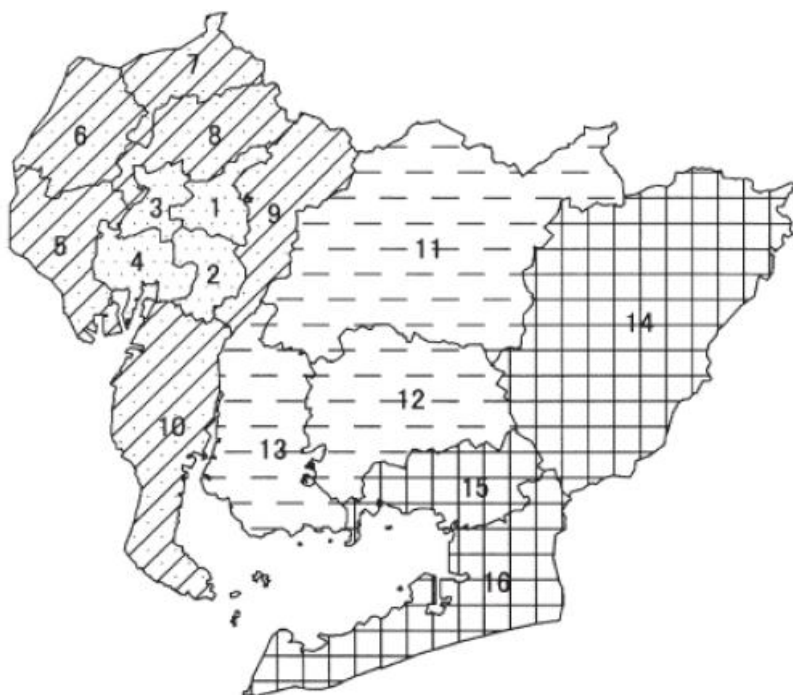
イ 標本数の配分

各層に、その推定母集団数（平成 23 年 10 月 1 日現在の人口）の大きさにより、3, 000 の標本数を比例配分した。

ウ 抽出の方法

- (ア) 第 1 次抽出単位となる調査地点として、平成 17 年国勢調査時に設定された調査区を使用した。
- (イ) 各層における調査地点については、1 次調査地点の標本数が 20 となるように算出し、各層内での調査地点が 1 地点の場合は単純無作為抽出法により抽出、2 地点以上となる場合は、「層における調査地区数の合計」÷「層で抽出された調査地点数」＝「抽出間隔」を算出し、等間隔抽出法により抽出した。
- (ウ) 各調査地点における対象者の抽出は、選挙人名簿により等間隔抽出法で抽出した。

調査地区区分図



地域	地区番号	地区名称(市(区)、郡)	
名古屋地域	1	名古屋市東部地区	(千種区・東区・守山区・名東区)
	2	名古屋市南東部地区	(昭和区・瑞穂区・緑区・天白区)
	3	名古屋市北西部地区	(北区・西区・中村区・中区)
	4	名古屋市南西部地区	(熱田区・中川区・港区・南区)
尾張地域	5	海部津島地区	(津島市・愛西市・弥富市・あま市・海部郡)
	6	一宮地区	(一宮市・稲沢市)
	7	犬山江南地区	(犬山市・江南市・岩倉市・丹羽郡)
	8	春日井小牧地区	(春日井市・小牧市・清須市・北名古屋市・西春日井郡)
	9	尾張東部地区	(瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・愛知郡・長久手市)
	10	知多地区	(半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・知多郡)
西三河地域	11	豊田加茂地区	(豊田市・みよし市)
	12	岡崎額田地区	(岡崎市・額田郡)
	13	衣浦東部幡豆地区	(碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・知立市・高浜市)
東三河地域	14	東三河山間地区	(新城市)
	15	蒲郡豊川地区	(豊川市・蒲郡市)
	16	豊橋地区	(豊橋市・田原市)

調査地区別標本・調査地点数一覧

		名古屋市	その他の市	郡部(町村)	計
名古屋地域	名古屋市東部地区	464,801 220 11			464,801 220 11
	名古屋市南東部地区	488,545 240 12			488,545 240 12
	名古屋市北西部地区	448,758 220 11			448,758 220 11
	名古屋市南西部地区	473,981 220 11			473,981 220 11
尾張地域	海部津島地区		208,585 100 5	56,793 40 2	265,378 140 7
	一宮地区		414,361 220 11		414,361 220 11
	犬山江南地区		179,477 100 5	44,610 40 2	224,087 140 7
	春日井小牧地区		482,106 240 12	11,607 0 0	493,713 240 12
	尾張東部地区		295,535 160 8	73,614 40 2	369,149 200 10
	知多地区		361,011 180 9	131,936 100 5	492,947 280 14
西三河地域	豊田加茂地区		381,026 180 9		381,026 180 9
	岡崎額田地区		297,196 140 7	30,112 20 1	327,308 160 8
	衣浦東部幡豆地区		536,104 240 12		536,104 240 12
東三河地域	東三河山間地区		40,609 20 1	9,342 0 0	49,951 20 1
	蒲郡豊川地区		211,931 120 6		211,931 120 6
	豊橋地区		353,575 160 8		353,575 160 8
	計	1,876,085 900 45	3,761,516 1,860 93	358,014 240 12	5,995,615 3,000 150

上段:推定母集団
中段:標本数
下段:調査地点数